

外務省所管 令和3年度補正予算（第1号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
ミャンマーの緊急人道支援 ニーズへの対応	本年2月のクーデターの影響に加え、7月以降の急速な新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動が停滞し、困窮化が著しいミャンマーにおいて、人道状況の改善のために緊急支援を行い、ミャンマーの安定化に貢献することを目的とする。	国連世界食糧計画 （WFP） [合計：5.0億円]	本年2月の政変後の混乱を受け、これまで支援してきた地域（ラカイン州、シャン州、カチン州）に加え、本年4月以降、食糧事情が急速に悪化したザガイン地域、チン州、ヤンゴンの都市周辺地域等で、緊急食糧支援、学校給食支援及び栄養支援を行うことで、同地域での脆弱な人々の食料安全保障及び栄養状態の改善につなげる。
		赤十字国際委員会 （ICRC） [合計：3.0億円]	本年2月の政変後、IDPや紛争の影響下にある地域（EAO地域やPDFの活動が活発な地域等）での緊急支援（食料支援、生活物資の供与、保健施設や給水設備の整備、種苗の供与等の農業支援等）を行うことで、影響を受けた脆弱な人々の人道状況の改善を図る。
		国連児童基金 （UNICEF） [合計：2.0億円]	本年2月の政変後の国軍と国民防衛軍（PDF）等との衝突に伴い、子どもの最低限の保護がなされていない状況が発生しているチン州、ザガイン地域及びカヤー州において、UNICEFが特定する緊急性の高い7万人の子ども・青少年（19歳まで）・保護者の人道支援を行う。
		国連難民高等弁務官事務所 （UNHCR） [合計：2.0億円]	本年2月の政変の影響により、ラカイン州、カチン州、シャン州、南東部において、約18万人の新たな国内避難民が発生。国際機関が特定している緊急性の高い人々に対し、①基本的な生活用品とシェルターの供与、②保護監視を支援することで、脆弱な人々の人道状況の改善を図る。
		国連人口基金 （UNFPA） [合計：1.0億円]	本年2月の政変は紛争地の拡大、医療体制の崩壊と治安の悪化を招き、その結果、妊婦の出産支援・救急救命及び女性と女兒に対する保護及びのニーズが急激に高まっている。①遠隔地での出産時支援を含むモバイルクリニックの実施、②出産時等の救命キットの配布等を支援することで、脆弱な女性の人道状況の改善を図る。
		東南アジア諸国連合事務局 （ASEAN事務局） [合計：2.7億円]	ASEAN防災人道支援調整センター（AHAセンター）を通じた人道支援物資の調達及び供与により、2021年2月以降の政情不安で発生した国内避難民の人道状況の改善を図る。